



# 佳作

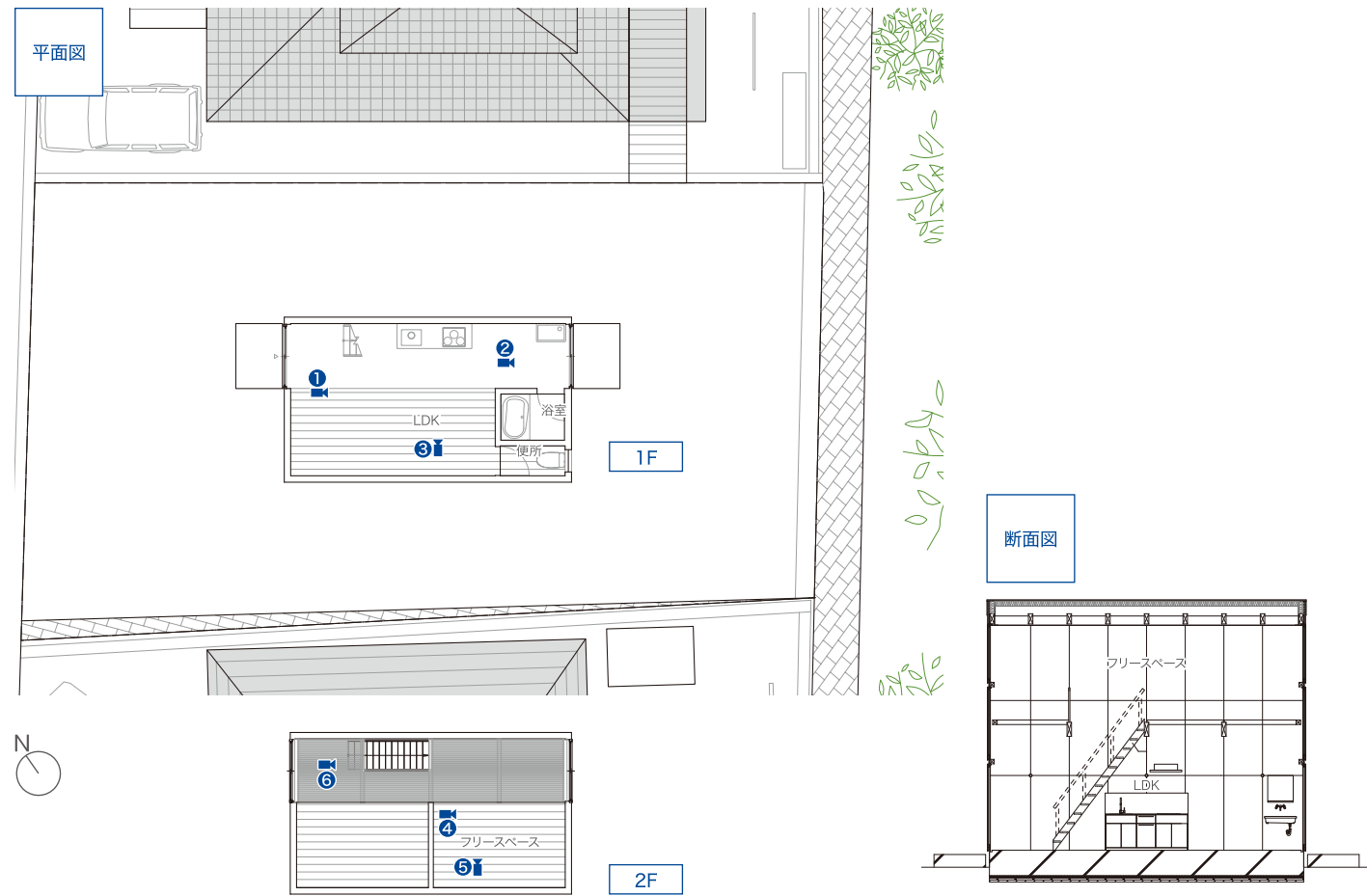
建築設計事務所 可児公一植美雪 | 【作品名】  
可児公一・植美雪 | ZOGA-H

設計	建築設計事務所 可児公一植美雪
施工	株式会社 中工務店
竣工日	2020年9月30日

建設地	広島県東広島市	延床面積	59.62㎡
敷地面積	233.99㎡	構造・規模	木造2階建

## 設備面の特記

厨房機器	IHクッキングヒーター
給湯機器	エコキュート
冷暖房機器	エアコン



## 設計コンセプト

プロジェクトのきっかけは「この限られた予算で新築の住宅を建てることは可能か?」という相談だった。工事にかけられる予算は約1,500万円で色々なところに相談したがうまくいかず、私たちのところでダメなら新築は諦めるとの事だった。予算が限られている事が必ずしも建築の強度に影響するとは限らない。贅肉を落とし、体を動かす事に最も適した過不足ない筋肉を持ったアスリートのように、本当に必要なものだけを残したプリミティブで力強い建築を目指した。

1階平面の約半分は基礎打ち土間仕上げとし、その上部の2階床を光の落ちるルーバー床とした。土間とルーバー床の接する短手壁に、トイレの換気窓を除くこの家全てのサッシ6枚を集中して設けた。階を跨いで設けられたサッシは、それ自体が手摺となり余分なディ

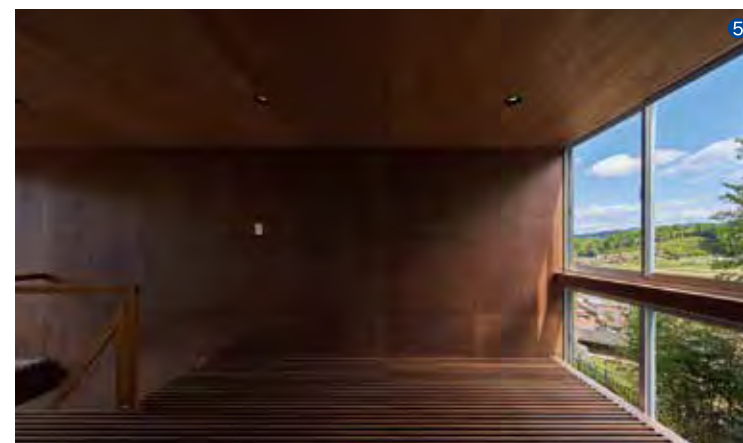
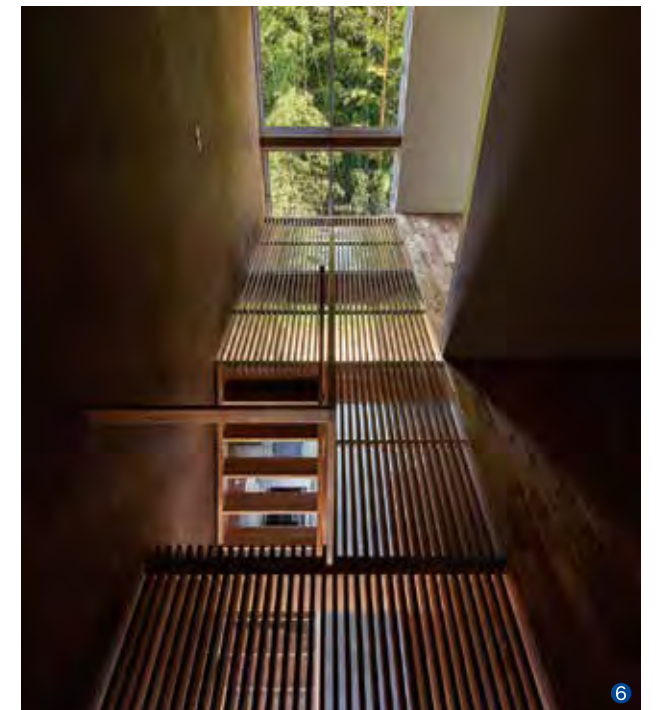
テールとコストを排除した。また、この住宅では「集める」ということについて考えた。窓を集め、明るさを集め、開放感を集め、抜けを集めた。1つ1つは凡庸で力無いが、それらの小さな力の集積が大きな力となり、凡庸ではない特別な空間が生まれるのではないかと考えた。ローコストを諦めず、潔さを学び、普通を疑い、本当に必要なものだけを残す。竹林からの風が吹き抜ける清爽とした家となった。

## 審査委員講評

「最小限住宅」よりも少しだけ床面積は大きいけれどミニマムさではこちらが上でしょう。建築の要素とそこから生まれる空間を集中、対比させることでシンプルさではなく強度を生み出しています。どんな家族がどんな生活をして受け止めてくれる住宅だと思います。是非ご家族が住まわれている写真を見てみたいと思わせるそんな住宅です。



①②③ 1階平面の約半分は基礎打ち土間仕上げとし、その上部の2階床を光の落ちるルーバー床とした。土間とルーバー床の接する短手壁に、トイレの換気窓を除くこの家全てのサッシ6枚を集中して設けた。階を跨いで設けられたサッシは、それ自体が手摺となり余分なディテールとコストを排除。また「集める」ことについて考え、窓を集め、明るさを集め、開放感を集め、抜けを集めている。



④⑤ 限られた予算内で、光と風を最大限に大きな塊として取り入れるため、既製品のアルミサッシを集中して使用。  
⑥ 土間には、竹林からの風が吹き抜ける。